

## 【PEケミカルカーゴホース】



### 用途

流 体	塩酸、リン酸、アンモニア、水酸化カリウム、フタル酸
	マイレン酸、オイレン酸、水酸化マグネシウム、ギ酸
	水酸化バリウム 等、
	(詳細は耐薬品性能表をご確認下さい)
使用温度	0℃～+60℃
使用場所	岸壁荷役・工場配管等

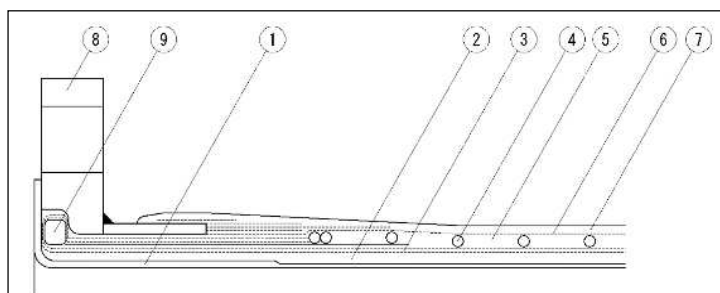
### 特 長

- ホース内面層に耐薬品性能が非常に高いポリエチレン※を使用し、外面ゴムにも耐候性ゴム (EPDM) を使用している為、耐薬品性能に優れた仕様です。  
また、金具部はライニング仕様としており、金具 (金属) に流体が接液しないため、金属を腐食させることはありません。
- 本体補強として硬鋼線と合成繊維コードを使用しており、柔軟性に優れ、取扱いが容易です。  
※耐候性能は低い為、屋外保管時は、ブラインドフランジなどで日光を遮断して下さい。  
繰返し曲げ伸ばし試験5,000回でも、内面層ポリエチレンに亀裂、歪みは発生しません。

### 標準規格

呼称 (φ)	内径 (mm)	外径 (mm)	本体仕様	使用圧力 (MPa)	最小曲げ半 径(mm)	参考重量※ (kg/m)	最大単長 (m)
75	76.2	97.0	2CPx1Wx1P	-0.1～+1.0	750	4.7	20
100	101.6	127.0	2CPx1Wx1P	-0.1～+1.0	1000	6.3	20
125	127.0	155.0	2CPx1Wx1P	-0.1～+1.0	1250	9.5	20
150	152.4	185.0	4CPx1Wx1P	-0.1～+1.0	1500	13.5	15

### 口元部構造



- |                    |                        |
|--------------------|------------------------|
| ①内面層: 超高分子ポリエチレン   | ⑥補強層: 化繊布              |
| ②内面ゴム(IIR): 耐薬品性ゴム | ⑦外面ゴム(EPDM): 耐候性耐薬品性ゴム |
| ③補強層: ポリエステル       | ⑧フランジ                  |
| ④本体ワイヤ: 硬鋼線        | ⑨ストップリング               |
| ⑤中間ゴム              |                        |

### 注意事項

加熱流体で65℃を超えるもの、また強酸(濃硫酸・硝酸)で40℃を超えるもの、および発煙硫酸・濃硝酸には絶対使用しないで下さい。

PE（超高分子ポリエチレン）耐薬品性一覧表 ※PEメーカー資料

流体		23℃	50℃	75℃
酸	塩酸 (50%)	◎	◎	煮沸×
	酢酸 (20%)	◎	○	×
	酢酸 (80%)	◎	○	×
	硝酸 (30%)	◎	◎	
	硝酸 (70%)	×		
	硫酸 (10, 30, 60%)	◎	◎	
	硫酸 (100%)	◎	×	
	リン酸 (25%)	◎	◎	煮沸×
	リン酸 (50~100%)	◎	◎	煮沸×
	フェノール (石炭酸)	◎	△	
	フタル酸	◎	◎	×
	ギ酸	◎	◎	
	マレイン酸	◎	◎	
	クロロスルホン酸	×		
	オレイン酸	◎	◎	△
アルカリ	アンモニア	◎	◎	
	炭酸アンモニウム	◎		
	水酸化アンモニウム	◎	◎	
	水酸化バリウム	◎	◎	
	水酸化マグネシウム	◎	◎	
	水酸化カルシウム	◎	◎	煮沸×
	水酸化カリウム	◎	◎	◎
	炭酸カリウム	◎		
	炭酸ナトリウム	◎	◎	◎
	重炭酸ナトリウム	◎		
	水酸化ナトリウム	◎	◎	◎
	硝酸ナトリウム	◎		
	重クロム酸ナトリウム	◎	◎	◎
	リン酸ナトリウム	◎	◎	◎
	次亜塩素酸ソーダ			
	アニリン	◎	○	△
有機溶剤・アルコール類	ベンゼン	△	×	
	トルエン	◎	△	×
	キシレン	△	×	
	ニトロベンゼン	◎	×	×
	シクロヘキサン	◎	◎	
	シクロヘキサノン	◎	×	×
	トリクロロエタン	△	×	
	トリクロロエチレン	×		
	エチレングリコール	◎	◎	◎
	ヘキサン	◎		
	ガソリン (無鉛)	◎	○	
	塩化ベンゼン	○	×	
	クロロホルム	○	×	×
	原油	◎	○	
	灯油	◎	△	
	鉱油	◎	△	×
	パラフィン	◎		
	ホルムアルデヒド	◎	◎	
	アセトアルデヒド	○	△	×
	アセトン	◎	◎	×
	メチルエチルケトン	◎		
	エーテル	○		
	ジエチルエーテル	◎		
	ブチルアルコール	◎	◎	◎
	イソプロピルアルコール	◎	◎	◎

流体 [%・℃]		23℃	50℃	75℃
その他	過酸化水素	◎	○	△
	オゾン	○	△	
	二酸化炭素	◎	◎	
	硫黄	◎	◎	
	水素	◎		
	メタン	◎		
	天然ガス	×		
	尿素	◎		
	ゼラチン	◎		
	果汁	◎	◎	◎
	ビール・ウィスキー	◎		
	ワイン	◎	◎	
	ミルク	◎	◎	◎
	海水	◎	◎	◎
	洗剤	◎	◎	

◎ : 全く、あるいはほとんど影響がない。  
○ : 若干の影響はあるが、条件により十分使用に耐える。  
△ : なるべく使わない方がよい。  
× : 著しい影響があるため、使用に適さない。  
空白 : データなし。

本データはあくまでも参考データですので、サンプルによる実使用条件下での予備試験の実施をおすすめいたします。  
本表に記載されていない流体で使用される場合は、お手数ですが都度お問い合わせください。

※ホースの状態では、加熱流体で65℃を超えるもの、また強酸(濃硫酸・硝酸)で40℃を超えるものには不向きです。